

事業所名

放課後等デイサービス ら・ぽるて

支援プログラム（参考様式）

作成日

令和7 年

3 月

12 日

法人（事業所）理念		放課後等デイサービス事業の適正な運営を確保するために、人員及び管理運営する事項を定め、事業所の従業者が、放課後等デイサービス利用者に対して適正な支援を提供する。										
支援方針		利用者の生活能力の向上のために必要な訓練を行うとともに、社会との交流を図る事が出来るように利用者の身体及び精神の状況並びにその置かれている環境に応じて適切かつ効果的な指導及び訓練を行うものとする。										適
営業時間		平日（月～金） 祝日・季節対応	午前 1 0 午前 9	時	00 00	分から	午後 7 午後 6	時	00 00	分まで	送迎実施の有無	<div>あり</div> なし
		支 援 内 容										
本人支援	健康・生活	・心身の健康状態の観察（毎日の体温測定・健康観察）・月初めの身体測定（期末に一年間の成長の記録を保護者にグラフにして報告） ・感染対策の指導（マスク・手洗い・うがいが必要な時の説明や声掛け）・トイレの声掛け（外出の前・集団活動前のトイレの声掛け） ・食育活動 月に一回は、料理実習（季節の料理・お菓子作り・昼食作りをします。）・年間を通じて畑で、野菜作り、収穫、野菜を使った季節の料理をします。										
	運動・感覚	・週一回は体操の時間を作ります。柔軟体操や運動能力の向上をはかります。 ・視覚：聴覚：触覚を刺激するような、ゲーム感覚で楽しめる あそび を活動をに取り入れます。 ・折り紙を使った工作活動を取り入れ、指先：感覚：集中力：達成感：忍耐力を養います。										
	認知・行動	・活動スケジュールやルールを絵やイラストで掲示し視覚化します。 ・季節を感じさせる活動を取り入れます。季節折々の行事やお祝い事を感じられる料理実習やお菓子作り、折り紙での工作を取り入れます。 ・季節料理やお菓子作り工作では、数の形、大きさ、色の違い、重さ、集中力、忍耐力、お友達との協力、作業の工程を学習し楽しく出来るように関りを工夫し支援します。										
	言語 コミュニケーション	・活動に参加できるように様々なツールを使い楽しく活動に参加し取り組めるように支援します。 ・日々の会話から児童が自分の思いが伝えられるように支援します。 ・集団活動の中で、児童同士が活動の場で良好なやり取りが出来るようにスタッフが間に入りながら支援声掛けを行います。										
	人間関係 社会性	・公共交通機関利用時のルールやマナー、公共施設利用時のルールやマナー、工場見学、駐車場でのルールを守って利用できるように支援声掛けをします。 ・公園での遊具の順番を守り、公園に遊びに来ていた児童とも仲良く遊べるように支援声掛けします。 ・集団活動を通じて、役割分担やルールを守って活動しお互いに力を合わせて活動できるように支援声掛けをします。 ・消防署見学や県警本部見学を通して、日々の仕事の大変さや訓練の大切さについて学びます。										
家族支援		・相談員さんを交えての面談や日々の連絡帳によるやりとりや必要に応じて電話連絡等で連携することにより、家族の不安や心配事を取り除いていきます。今年度は、					移行支援		・保育園や学校や家庭・相談支援事業所、放課後等デイサービスの様子や支援の取り組みについて情報共有も行い、個々に合った支援を行います。			
地域支援・地域連携		・地域の公共施設を利用します。 ・地域の学校や福祉サービスと連携をし、包括的な支援体制を整えます。					職員の質の向上		・事業所内外研修、外部研修へ参加しスキルアップの向上へと繋げています。			
主な行事等		季節折々の行事やお祝い事。誕生会・節分・ひな祭り・・・など 公共交通機関を利用した遠足工場見学・消防署見学・県警本部見学・保護者も参加した野菜作り										